

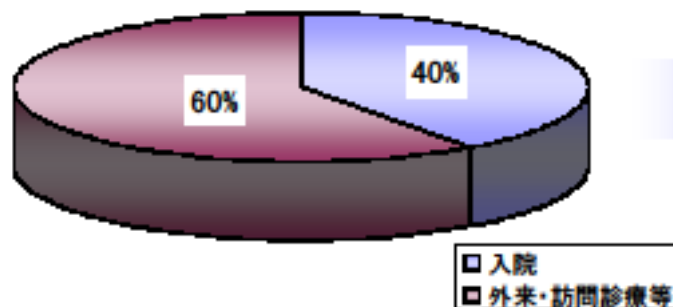
# 総合福祉部会2010年から2011年活動スケジュール(案)

	2010年							2011年								
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
<b>部会全体会</b>	22 日	27 日	31 日	21 日	26 日	19 日	7 日	25 日	15 日	26 日	31 日	23 日	26 日	9 日	30 日	
	新法の論点についての 共通理解を深める			第1期課題別作業 チーム検討案を議論				第2期課題別作業 チーム検討案を議論				新法の 骨格整理		新法の 骨格提言		
<b>部会作業 チーム</b>	<p>新法策定にあたり、より 詰めた議論や検討が必要 な課題について、課題 別作業チームを編成し、 全体会議に諮る検討案 を作成する。 (部会全体会の後に、作 業チームに別れて協議 検討)</p> <p>検討状況の報告 毎回の部会で「議事概 要」提出</p>				<p>第1期作業チーム 1月に報告書提出</p> <p>法の理念・目的 【藤井克徳座長】</p> <p>障害の範囲 【田中神明座長】</p> <p>選択と決定・相談支援 プロセス(程度区分) 【茨木尚子座長】</p> <p>施策体系(訪問系) 【尾上浩二座長】</p> <p>日中活動とGH・CH・ 住まい方支援 【大久保常明座長】</p> <p>地域生活支援事業の 見直しと自治体の役割 【森祐司座長】</p>			第1期報告書に対する厚生労働省からSSTACTY	<p>第2期作業チーム 5月に報告書提出</p> <p>選択と決定・相談支援 プロセス(程度区分) 【茨木尚子座長】</p> <p>地域移行 【大久保常明座長】</p> <p>地域生活の資源整備 【森祐司座長】</p> <p>利用者負担 【田中神明座長】</p> <p>報酬や人材確保等 【藤岡毅座長】</p>			第2期報告書に対する厚生労働省からSSTACTY		第2期作業チーム報告・討議		
<b>障がい者 制度改革 推進会議と の合同作 業チーム</b>	就労、医療、児童分野につ いては合同作業チームで論 点の整理・検討を行う。				医療(主に精神分野)			医療(その他の医療一般) 【堂本暎子座長】								
					就労(労働及び雇用)【松井亮輔座長】											
					障害児支援【大谷恭子座長】											

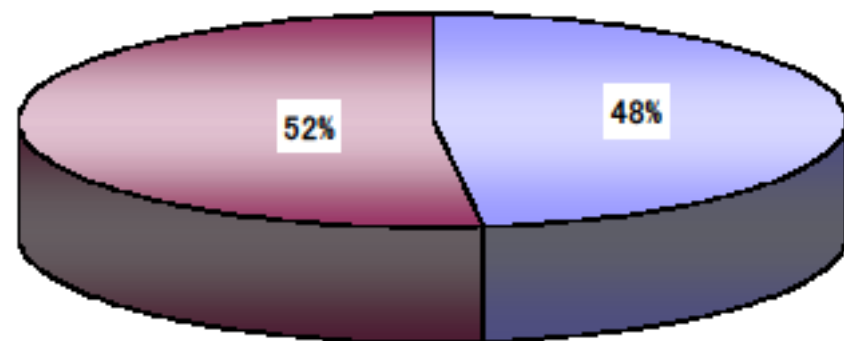
10. 最後に、医療・介護費用のシミュレーションや障害福祉計画等の数値等を参考にしながら、障害者支援費用のシミュレーションを試してみよう。

# 医療・介護費用別サービスの内訳の変化(B2シナリオ、経済前提Ⅱ-1の場合)

2007年  
34兆円程度

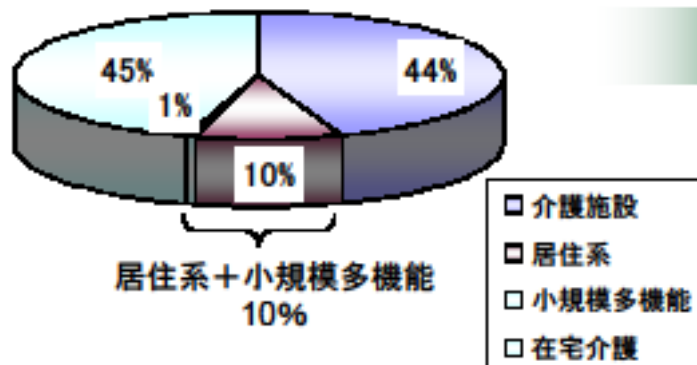


2025年  
67~69兆円程度

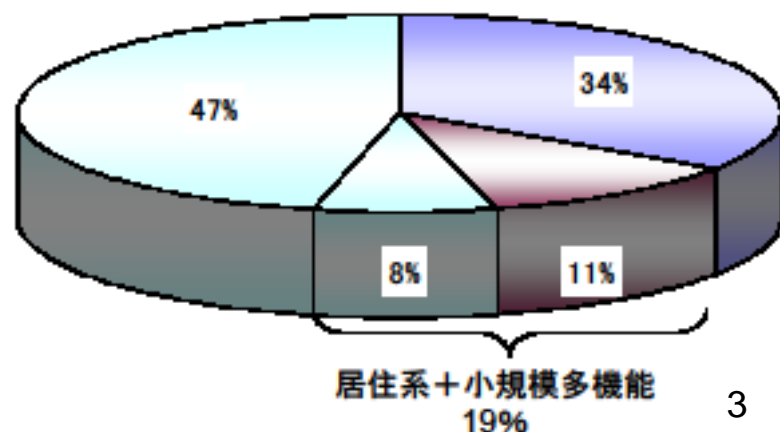


医療

2007年  
7兆円程度

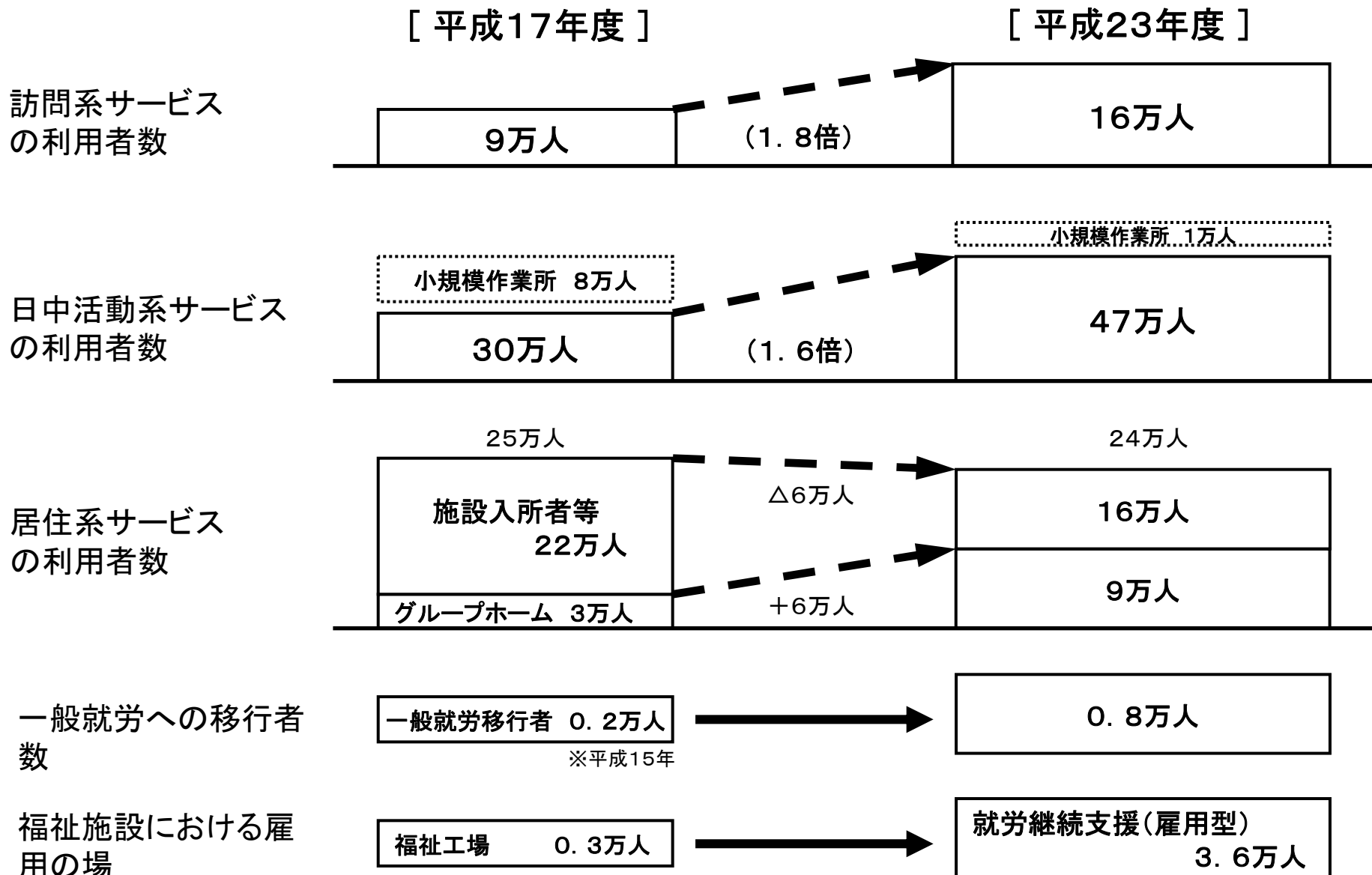


2025年  
24兆円程度



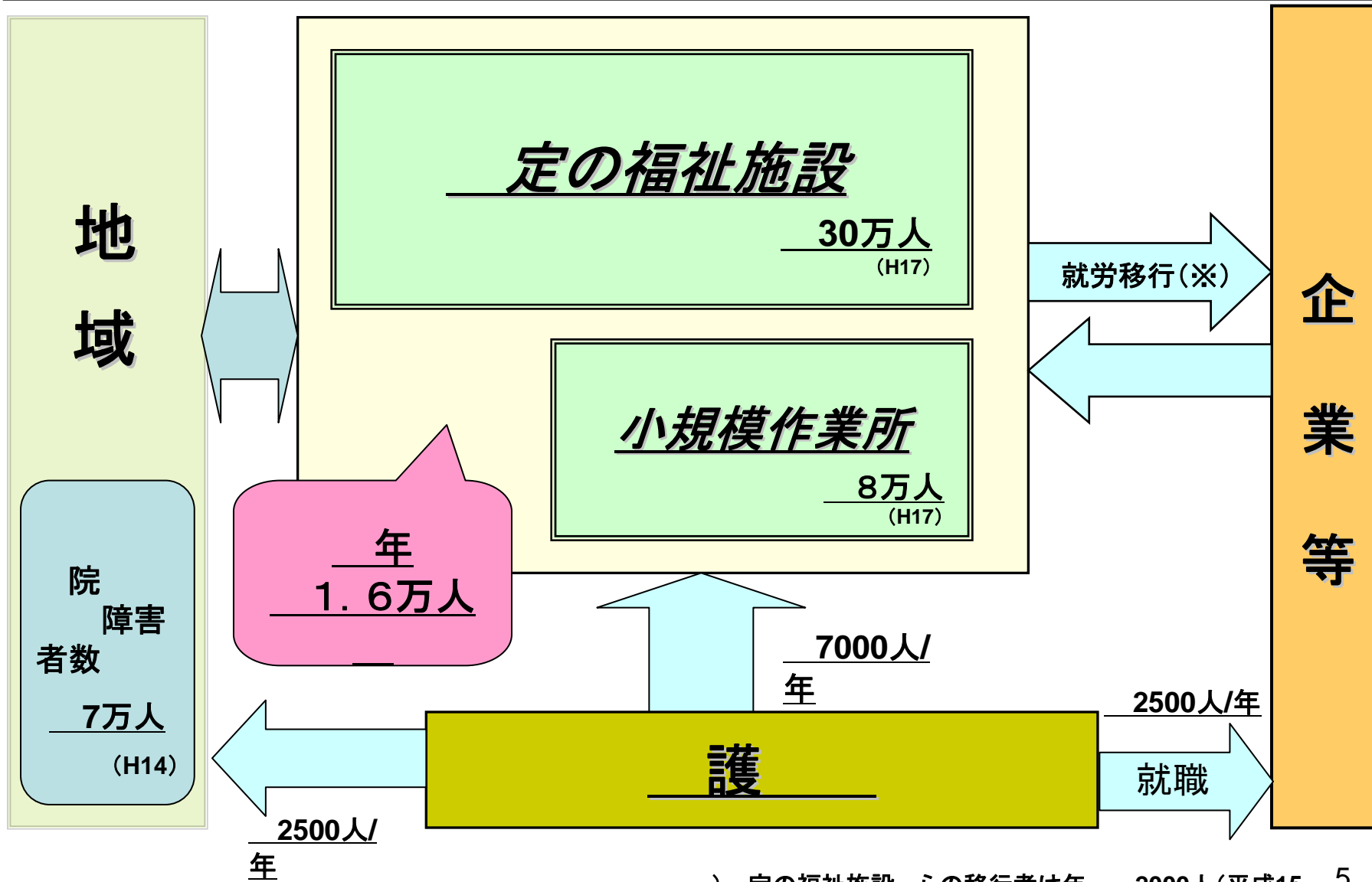
介護

# サービス利用者の将来見通し



※ 計数については、端数処理を行っているため、積み上げと合計が一致しない場合がある

# 障害者の福祉施設利用の動向



) 定の福祉施設 からの移行者は年 2000人(平成15 5年度)

# 居住系サービス利用者の将来見通し

## 推計の考

業等の 施に う施設入所 らグループホーム・ ホーム等への移行を推計。  
 け入 が整 院 な 入院 者の 院 に う利用者数を推計。

17年度

25万人

22万人

（入 が整 入院 者 7万人※  
 院 な者）

入所者 15万人

※ 14 者調

入所・入院

23年度

24万人

16万人(Δ6万人)

施設入所者等 16万人

地域移行  
 （入所 らの移行 Δ1万人  
 入院 らの移行 Δ5万人）

Δ6万人

9万人(+6万人)

入所・入院 らの移行 3万人

3万人

グループホーム・  
 ケアホーム

系へ  
 移行

3万人

6  
 等へ

福祉ホーム・一般住

※ 計数については、端数処理を行っているため、積み上げと合計が一致しない場合がある

全国要支援（ニーズ）障害者の今後の経年的推移の予想値

X

サービス利用率の推移の予想値（家族等介助から社会的介助へ）

シミュレーションA  
（の障害者計画のステップ、地域移行や一般就労が  
場合）

シミュレーションB（2025年に、  
地域移行がした場合）

住い支援の  
の度向

X

度上の  
支援職員  
ー

住い支援  
の度向

X

度上の  
支援職員  
ー

日中活動の  
の度向

X

度上の  
支援職員  
ー

日中活動の  
の度向

X

度上の  
支援職員  
ー

訪問系支援  
の度向

X

度上の  
支援職員  
ー

訪問系支援  
の度向

X

度上の  
支援職員  
ー

X

今後の支援職員の賃金の変動等をふまえた単価設定

障害者支援費用（ただし、就労関連支援・教育関連支援及び  
介護保険利用者との関係で調整が必要）

# と のある 社会保障・社会福祉 システムと ー に向けて

- 経 や の は 定しない。し  
し の は、
- ての国 の な と を活  
し、 ての国 が して ・ ・  
との 来る社会 を 成 るために  
必要なの はないの
- のために 、 と のある社会  
保障・社会福祉シス ムと ー を  
に はないの